

地域の自然素材を生かした環境教育

三次市立安田小学校

1 活動概要

本校のある安田地域は自然豊かな山間部にあり、ダルマガエルやブッポウソウをはじめとする絶滅危惧種の動物や、カタクリ、ユキワリイチゲ、セツブンソウなどの貴重な山野草が見られる地域である。本校ではその地域の特性を生かし、「安田カリキュラム」を作成・実践するとともに、理科・生活科・総合的な学習の時間における授業の工夫・改善を進めている。また、全校でのクリーン活動や、トレイの回収、駅舎や峠の清掃活動なども長年続く環境保全活動である。これらの学習や活動を通して、児童全員が「安田が大好き」「自然を守りたい」という気持ちがある。

2 本実践事例について

(1) 本事例実施の背景・これまでの取組

本校では、安田地域に生息している絶滅危惧種『ダルマガエル』の保護・研究活動を進めている。児童が抱いた「なぜ、絶滅危惧種になったのか?」「ダルマガエルを保護するためにはどうすればよいのか?」という疑問を解明するため、地元の「絶滅危惧種保護の会」の方に協力してもらったり、実地調査や観察活動を継続したりして、児童なりの仮説をたて検証を行い、科学研究作品としてまとめている。この学習を通して、自然環境や生態の変化との因果関係や、自然と共存する生き方について考えさせ、「E S D」の考えに沿った環境教育を進めている。



(2) 指導のポイント

☆ 地域の自然素材、人材、施設を活用し、生活科・理科・総合的な学習の時間を関連させたカリキュラム（安田カリキュラム）を作成し、環境に対する取組を教育課程に位置付け、全児童が関わっていけるようにする。

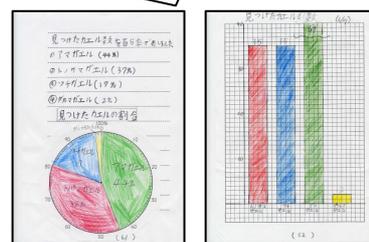
また、児童会活動等を通じ、上級生から下級生へと取組が継続され発展していくようにする。（付けたい力3）

☆ 環境に対する知識を身に付けさせるだけでなく、長期を見据えた環境保全のあり方、生物・植物と人間との共存を考えるようにする。

☆ 自然の事物や現象と直接触れ合う活動や体験を通して関心や意欲を高めるとともに、課題意識をもたせて問題解決能力の育成につなげていく。

☆ 観察・調査の結果はデータや表、グラフに整理させるなどして客観的にとらえさせる。また、学習したことは分かりやすく（論理的に）まとめさせ、地域や保護者の方々に発信する。

グラフにすると、割合がよく分かるよ。



3 学習指導案

◎本時の授業…学校ビオトープや地域の水田で行った生き物調査の結果に基づいてダルマガエルの減少の原因を探り、自分たちにできることを考えさせる実践である。

(1) ねらい

ダルマガエルの研究のまとめを通して、安田の環境を考える。

(2) 対象学年 第5・6学年

	学習活動	指導上の留意事項	評価
導入	1 ダルマガエルの生息数を確認する。 ・年々減っているようだね。 ・増えた年もあるね。(放流した翌年)	・過去10年間のダルマガエル生息数の推移のグラフを提示する。	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">なぜ、ダルマガエルは少なくなってしまったのだろう。</div> 2 実地調査での表やグラフから分かることを調べる。 ・今年は特に少ないね。 ・捕獲したカエル全体の2%程度だ。 3 観察やインタビューなどから、分かる要因を考えさせる。 ・農業の変化 耕地整理により水路がコンクリートで作られ、深くなった。 田打ちや稲刈を大型機械でしている。 こしひかりを植えるようになり、中干しをするようになった。 農薬の害があるのではないか。 ・身体的な特徴 足が短く、動きがにぶい。 ・外来生物が多い。 ザリガニ、今年はアライグマが出現	・1回目、2回目、3回目、4回目、5回目の結果を見て考えさせる。 ・科学研究のまとめから、減ってきた原因を探らせる。 ・生物と環境の関係や人間との共存について、考えさせるきっかけを作るようにする。(水路から脱出できるような工夫や、保護地では農薬を減らしたり中干しをしない品種を植える配慮) ・日本で生物多様性会議(COP10)が開かれていることを紹介し、世界的な課題であることを知らせる。	
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ダルマガエルは、環境の変化や外来生物等の影響で減っているのではないか。</div> 4 自分たちができることを考える。 ・環境保護について皆に訴える。 ・外来生物を入れない。 ・清掃活動を続け、自然を大切にする。	・自分たちが発信できる方法を考えさせる。(ホームページ、看板、パンフレット、地域発表会、地域ガイド)	

4 児童の反応(授業後の感想等)

- ・ダルマガエルは全体のたった2%しかいない。来年は増えて欲しいなと思った。
- ・えさや水質についても調べる必要があると思います。来年は調べます。



- ・ぼくはダルマガエルが大好きです。だから増えて欲しいです。自然のいっぱいある安田に住めてよかったです。
- ・外来生物の問題は難しいなと思いました。

わたしたちの安田地域には絶滅危惧種のダルマガエルがいます。この学習を通して、環境や自然を守ることの大切さと責任を感じました。環境を守る取組として、安田小学校は地域のごみ拾いや清掃活動を続けています。クリーン活動をしていると、道ばたに弁当がらやたばこなどがたくさん落ちていきます。わたしはどうして平気で捨てられるのだろうと腹がたちます。

わたしは、環境や人のことを考えない大人にはなりたくありません。これからも、人間や動物・植物が共に住みやすい安田の自然を守っていきたいです。